

平成26年(2014年)11月号

宮 通 信

和歌山市立宮小学校

いのちのおはなし

先日1年生の教室で、子どもたちがお誕生日会で友達に贈るプレゼントを作っていました。折り紙を使った手作りプレゼント。「○○ちゃんにあげるんだ。お手紙も付けたよ。」「お誕生日会いつかなあ。」お誕生日会ではお祝いの歌を歌ったり、ゲームをしたりしてみんなで成長を喜び合ったそうです。他の学年でも、お誕生日の子に将来の夢をインタビューしたり、友達からのお祝いメッセージをもらったりしてお誕生日会をしています。どの子もいのちの大切さに触れる素敵な学習だと思っています。

さて、いのちが大切というのは、みんながわかっていることですが、改めて「いのちってなに?」と聞かれたら、みなさんは何て答えますか。

いのちは、わたしたちに与えられた時間のことです。

これは、日野原重明先生の言葉です。日野原先生は今年103歳になられ、今も現役の医師として活躍されている方です。また、あちこちの小学校で子どもたちに「いのちの授業」をされています。いのちが時間??私をはじめ聞いてるとき、「へえ、こういう考え方ができるんだ。」と感動したのを覚えています。先生は「いのちをもっているということは、使える時間が与えられているということです。自分が使える時間こそがいのちであり、それを何にどう使うかが生きていくということ。時間の使い方がそのままいのちの使い方になります。」とされています。確かに何かに打ち込んで過ごしても一日、何もしないでぼんやり過ごしても一日です。

時間にいのちを吹きこめば、その時間が生きてきます。

一日一日の時間の中にいのちがあるのです。子どもたちにとっては、今、勉強や運動、習い事に精いっぱい取り組むことがいのちを使うことだと思います。でも「人が生きていくうえでもう一つ大切なことがある。それは『こころ』です。」と日野原先生はおっしゃっています。「おたがいに手をさしのべあっていっしょに生きていくこと。自分以外のことのために時間を使おうとすることです。」と。

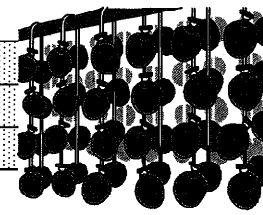
ある日の帰りの会。「今日のキラリさん」「かがやき」などの言葉で、自分ががんばったことや友達の素敵な行動を発表し認め合っています。「今日は○○さんがいっしょに保健室へ行ってくれました。」・・・お家ではどうでしょう。お母さんのお手伝いできた子もたくさんいると思います。いのちという自分の時間を自分のためだけでなくまわりの人のためにも使えるって、人間として素晴らしいことです。反対に、大切な自分のいのちを人をいじめたり傷つけたりすることに使うなんて、なんと愚かでもったいないことなんでしょう。

自分のもっている自分の時間。それが自分のいのち。自分も友達も大切に、そして少し難しいかもしれないけれど、人のためにも何かできる子に育ってほしいと願っています。

(教頭 中村祐佳子)

11月の予定

日	曜	行 事 等
1	土	子どもセンター(野球教室) 土曜教室
2	日	宮地区連合自治会運動会(運動場貸与)
3	月	文化の日
4	火	登校指導 セーフティーネットの日 学校開放週間~9日(日)まで
5	水	津波防災の日(避難訓練) 研究授業(1年3組) 児童下校13:20(1年3組は14:30頃)
6	木	宿泊体験学習(5年)
7	金	宿泊体験学習(5年) こども科学館見学(4年)
8	土	
9	日	日曜参観と講演会 参観授業2限9:40~ 講演会10:40~ 児童下校12:00
10	月	振り替え休業 諸費振替日
11	火	
12	水	研究授業(6年4組) 児童下校13:20(6年4組は14:30頃)
13	木	禁煙教室(6年)
14	金	移動図書館
15	土	子どもセンター(ひのさくんで遊ぼう) 土曜教室
16	日	ふれあい運動会
17	月	バター作り(2年)
18	火	ふれあい交流給食
19	水	みのりの集会(2限) 第2回教科等別研修会 児童下校13:00頃
20	木	歯科検診(1年、5年)
21	金	
22	土	
23	日	勤労感謝の日
24	月	振替休日
25	火	修学旅行(6年)
26	水	修学旅行(6年)
27	木	
28	金	文化庁文化芸術体験13:15~15:15(東京芸術座「夏の庭」)児童下校15:30
29	土	土曜教室
30	日	



★日没の時刻もずいぶん早くなりました。夕刻、暗くても遊んでいると、事故や事件に合う危険がいっぱいです。明るいうちに帰宅できるように、お家でも話し合ってみましょう。

※子どもたち見守り隊の皆様や保護者の皆様には、児童の登下校の見守り活動等において、いつもお世話になりましてありがとうございます。今月(11月)は4日がセーフティーネットの日になっていますのでよろしくお願いいたします。